

カリキュラム

コースコード：25-114

タイトル		組織的OJTの仕組みづくり【名古屋】				
サブタイトル		若手の育成を「現場まかせ」にしない				
研修のねらい		人材育成は事業の継続を左右する喫緊の課題であり、採用難の中、その重要性は増しています。一方で、人材育成の中核となるOJTが現場任せになっていることも多く、若手の育成に時間を割く余裕がない、若手社員が期待するように育たない等、悩みを抱える企業が多いことも事実です。 この研修では、現場リーダーの疲弊を招かず効果的に人材を育成するために、組織的にOJTを推進できる仕組みづくりを学びます。				
研修の特徴		・OJTが標準化され、実効性の検証ができるようになります。 ・現場リーダーが前向きにOJTに取り組めるようになります。 ・自社のOJT改善プランを作成するので、すぐに改善にとりかかれます。				
対象者		経営者、経営幹部、総務人事の責任者 ・若手が育っていないと感じる方 ・人材育成の基本を学びたい方 ・OJTから人材育成制度に取り組んでみたい方	定員		24 名	
			研修期間/時間数		2025年6月11日（水）～6月12日（木）	
					2 日	14 時間
			会場		名古屋国際センター 5階 第1会議室	
			受講料		22,000 円	
科目構成						
日付	時間	科目	内容			講師
6/11 （水）	9:50～10:00	開講式・オリエンテーション				株式会社エニシードコンサルティング 代表取締役 荻須 清司
	10:00～12:00 13:00～14:30	労働者市場の動向と人材育成の重要性	労働者市場の動向と、人材育成が事業の継続性へ与える影響の重要性を学びます。 ・採用市場と企業廃業原因の動向 ・労働者市場の動向 ・企業廃業とOJTが効果的に行われない弊害 ・自社のOJTを振り返る			
	14:30～18:00	効果的なOJTを実現する仕組みづくり	OJTの制度や意義を会社全体で共有し、組織的にOJTを実施する仕組みを学びます。 ・OJTと全社教育体系 ・効果的なOJTを実現する3つのポイント ・組織的に複数の指導担当者を決める ・OJTは業務の棚卸から ・育成対象者と指導担当者への定期的フィードバック			
6/12 （木）	9:30～12:00 13:00～15:30	OJT担当者のスキルアップを支える仕組み	OJTを担当する現場リーダーのスキルアップの必要性とそれを支える仕組みを学びます。 ・若手社員とのコミュニケーション ・ティーチングとコーチングを使い分ける ・指導手順のマニュアル化とOJT計画表の作成			
	15:30～17:30	自社のOJTの改善点の検討	組織的OJTができるよう自社のOJTの改善点を検討し、改善プランを作成します。			
	17:30～17:40	閉講式				
講師氏名		略歴				
荻須 清司 （おぎす きよし） 株式会社エニシードコンサルティング 代表取締役		東証一部住宅設備機器メーカー、エクステリアメーカーなどで、営業、人事、法務、経営企画に従事。M&A、海外現地法人設立、店頭公開業務にも携わり、2005年より名古屋ワークスマネジメントオフィス代表。2013年に株式会社エニシードコンサルティングを設立し、現職。名古屋商科大学大学院マネジメント研究科客員教授。資格は中小企業診断士、特定社会保険労務士、行政書士、キャリアコンサルタントほか。 専門分野は経営改善（戦略構築、マーケティング、経営革新、創業支援）、人事組織構築（人材育成研修、評価・賃金制度）、会社設立支援等。				